

ICSデジタルワークプレイスが専門誌「税界タイムス」に掲載されました

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。

このたび、当社が提供する「ICSデジタルワークプレイス」が、税務・会計業界の専門紙である『税界タイムス』に掲載されましたので、お知らせいたします。

今回の記事では、税理士・会計事務所および中小企業における業務のデジタル化ニーズの高まりを背景に、ICSデジタルワークプレイスが実現する業務効率化・情報共有の高度化について取り上げていただいております。

当社は「ICSデジタルワークプレイス」を通じて、税務・会計業界における業務革新と付加価値向上に貢献してまいります。

今後もお客様のニーズに応じたサービスの提供と機能拡充を進め、より一層の価値提供に努めてまいります。引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本ICS

Webサービス型の新しい「共有業務空間」

日本ICS(株)(大阪・大阪市、代表取締役社長=西林心路氏)が会計事務所向けリモートアクセス基盤「ICSデジタルワークプレイス」(以下、「デジワーク」)を発表した。クラウド一辺倒の潮流に対し、現場の要望を重視した事務所サーバー活用型の新提案と位置付けられる。

会計事務所のサーバー環境を維持したまま、職員や顧問先はブラウザ経由で安全に接続できるのが特徴だ。職員も関与先も、長年使い慣れた会計ソフト等をブラウザ上でそのまま操作でき、移行リスクを抑えられる。

会計事務所には「顧客データは預かりもの」という考え方が浸透しており、事務所内のサーバーで保管したいニーズは依然として強い。デジワークは

この実務感覚に正面から向き合った設計だ。技術的背景には、先行開発のクラウドポータル「MYICS」の存在が大きい。これをログイン入口に据えることで、利便性と安全性を両立した接続環境を実現した。セキュリティ面においても、金融機関レベルのセキュリティ基準となる親会社TIS(株)の審査をクリアし、その信頼性は高いと評価できる。

開発の根底には、育児・介護との両立や地方人材活用など、多様な働き方への対応がある。クラウドの利点を包含し、尚且つ会計事務所のニーズを解決するデジワークは、会計事務所システムの1つの大きな方向性を示すものとして注目が必要だろう。



敬具